

## 特別特集「コロナに打ち克つ経営の為に大事な事とは」(第4回) 添付資料 松下幸之助氏のエピソードから学ぶ不況克服の経営とは！！

第1回で松下幸之助氏の不況克服の10か条を紹介しましたが、今回は1929年の世界大恐慌の時の実話を紹介します。経営幹部が「危機を乗り越える為には従業員を半分解雇するしかありません」との進言に対して、幸之助氏は従業員に熱い想いを伝え「さすが親父さんだ！！」と奮い立たせる、一人も解雇せずに大不況を乗り越えたとの実話です。どのような行動をとったか是非考えて頂きたいと思います。

**設問** 昭和4年(1929年)の世界恐慌の時、経営幹部は「危機を乗り越える為には従業員を半分解雇」を提言したが、従業員解雇しないで不況を乗り越えた。下記2枚の情報から幸之助氏のとった行動を考えて下さい。具体的に従業員にどのように想いを伝え、具体的な指示をしたのかお答えください。

### “経営の神様”松下幸之助を世界的大不況が襲った。 その時幸之助がとった行動とは

- ・ 昭和4年(1929年)世界恐慌に追い打ちをかけた不況
  - 産業界は大きな打撃、株価は暴落、会社の倒産は全国に広がる。電機業界でも多くのメーカーが倒産。松下電気も売上げが半分以上に急減、たちまち在庫が増え置場もなくなるという操業以来の最大危機に直面。
- ・ 病床にいた幸之助に幹部が「危機を乗り越える為には従業員を半分解雇するしかありません」と進言。

### しばらく沈思して幸之助が口を開いた言葉は

『なあ、わしはこう思う。松下がきょう終わるんであれば、君らの言うとおりに従業員を解雇してもいい。けれども、わしは将来松下電気をさらに大きくしようと思っている。だから、1人の解雇もしたらあかん。会社の都合で人を採用したり、解雇したりでは働く者も不安を覚えるだろう。大をなそうとする松下としてはそれは耐えられないことだ。みんなの力で立て直そう』

### 幸之助の決断が従業員を奮い立たせる！！

幸之助が指示した具体的な行動とは

- ① ヒント:工場勤務はどうしたか? 従業員の給料はどうしたか?。
- ② ヒント:その代りに、全員、休日を返上し・何をさせたか?

幸之助の決断が従業員を奮い立たせる！

社内に垂れこめていた暗雲が瞬時に吹き飛ぶ。

『さすがはおやじさんだ。みんなで

力を合わせてがんばろう！！』

それから2か月、全員の懸命な努力が実を結び、在庫は一掃され倉庫は空になったばかりでなく、全力を挙げてフル生産をしなければならないほどになった。

第4回メールマガジンで案内の様に、4回シリーズで「コロナに打ち克つ経営」オンラインセミナー（無料）を開催致します。第1回では下記を教材として5月26日に開催します。一つ一つの名言に奥深い教えがあります。是非学んでいただきたいと思ひます

第1回 「偉大な経営者から学ぶ不況克服の為の組織強化と経営」

➤ 松下幸之助氏の不況克服の10か条及び稲盛和夫氏の「不況は成長のチャンス」等の名言・教えを学び、緊急事態宣言下の今経営者及び経営幹部がすべき事を真剣に考えて頂くために

## 松下幸之助 不況克服の心得十カ条

- 第一条 「不況またよし」と考える。
- 第二条 原点に戻って、志を堅持する。
- 第三条 再点検して、自らの力を正しくつかむ。
- 第四条 不退転の覚悟で取り組む。
- 第五条 旧来の慣習、慣行、常識を打ち破る。
- 第六条 時には一服して待つ。
- 第七条 人材育成に力を注ぐ。
- 第八条 「責任は我にあり」の自覚を。
- 第九条 打てば響く組織づくりを進める。
- 第十条 日頃からなすべきをなしていく。

偉大な経営者から学ぶ不況克服の為に大事な事

### 『不況だからこそ苦しい時だからこそ チャンスである！！』

- ◆ 企業の成長は不況の時の対処の仕方で決まる。京セラが同業他社を抜いたのは不況のときである。(京セラ 稲盛和夫)
- ◆ 市場の変動を言い訳にするな (京セラ 稲盛和夫)
- ◆ 景気の悪い年は、ものを考えさせられる年。だから心の改革が行なわれ、将来の発展の基礎になる。(松下幸之助)
- ◆ 不況の時こそ会社発展の好機である。商売は考え方一つ、やり方一つでどうにでもなるものだ。(松下幸之助)
- ◆ かつてない困難、かつてない不況からかつてない革新が生まれる。それは技術における革新、製品開発、販売、宣伝、営業における革新である。そしてかつてない革新からはかつてない飛躍が生まれる。(松下幸之助)